第５９回全日本病院学会 in 石川
一般演題プログラム・病院経営２（２－３－２５）
2017 年 9 月 10 日 14:10

医療と他産業の連携が未来事業を創造

～総合医療＆スポーツ：次の挑戦に向けたコンディショニング事業～

有限会社アルファディア	CEO
Emotional Business Lab.	Chief Technologist
Rest Wing Conditioning Lab.	Founder/Director
慶応義塾大学 SFC 研究所	研究員

田　草　川　　麗
Rei Takusagawa

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project　(Alphadea Corp.) All rights reserved.

発表演題の概要

【はじめに】

一億総スポーツ社会の掛け声のもと 2020 年に国内スポーツ市場 10 兆円、潜在的医療観光市場 5,507 億円と推定される中、医療が治療・予防を超えて元気を生み出す領域に踏み出すことこそ、人口減少時代に取り組むべき課題である。

【取り組み】

生涯現役時代を生きるワーキングアスリートに「次のチャレンジに向けた適切な調整」を提供し、「ときめき」を持って夢や日々の生活に挑めるように、総合医療とスポーツ・食、地域資源を組み合わせ、新たなメディカルツーリズムやコンディショニングサービス事業を創生する。

【実践】

石川県七尾発「いたわり・ととのえ・ときめき」を基本とする「Rest Wing（羽休め）Conditioning」事業を推進中である。

【考察】

医療でなければできないことと医療ではできないことの連携が医療派生産業を創出し、ワーキングアスリートのアクティブなライフワーク作りの支援と医療従事者の新たな社会的役割を生み出すと考える。

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project （Alphadea Corp.) All rights reserved.

発表内容

１．アクティブライフ研究の結論

新規事業プロデューサーとして業務を通じ、15 年に渡る「アクティブライフ」及び「Emotional Business」（顧客と感性を共有し、社会に役立つ事業）の在り方を研究してきた結果、“医療でも、介護でも、スポーツでも、教育でも、人財育成でも・・・”、夢や希望・目標・期待など“〇〇をしたい！”という強い「意欲」を持つ人に対して、支援を提供した場合、非常に大きな効果が得られる！という結論に至りました。

よって、「意欲（ときめき）を喚起」して、「ときめく“生きる”の共創」、すなわち、“ときめく生きる”を一緒につくることこそ、

（医療がもたらす未来の地方創成の在り方）＝（医療の未来事業構想）

につながると考えております。

２．ときめきづくりのための羽休め理論

（“ときめき”を持つための過程と方法）

人生は山登りにたとえられますが、ずっと登り続けると病気や故障、さらには、やる気の喪失につながり、意欲を失うリスクが高まります。

次のチャレンジを楽しみながら、成果を出すためには、“羽休めの間”を持ち、適正なコンディションをつくったうえで、挑戦することが望ましいという考え方です。この考

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project （Alphadea Corp.) All rights reserved.

え方がアクティブライフ研究の結論から導き出した「羽休め理論（Rest Wing Conditioning Theory)」です。

一つの山を越えたら（挑戦を終えたら）すぐに次の山に登る（次の挑戦をする）のではなく、“いたわり”、“ととのえ”、そして“ときめき”を抱いて次の山に登る（次の挑戦に挑む）という概念が、「羽休め調整（Rest Wing Conditioning)」です。

一例として、“いたわり”は治療・カウンセリング・休養、“ととのえ”はリハビリ・セラピー、トレーニングに相当します。これらにプラスして、“ときめき”を喚起する要素を加えることが重要になります。ときめきの喚起は、適正なコンディションを確保（すべての要素で柔剛のバランスを取ること）と目標の設定によってできると考えております。

いたわり	ととのえ	ときめき
治療	リハビリ	適正なコンディションを確保 （柔剛のバランス） ＋ 目標の設定
カウンセリング	セラピー	
休養	トレーニング	

要するに、ときめきを生み出す土壌をつくったうえで、次のチャレンジに臨むことが大切だということです。

３．医療と他産業の連携が未来事業を創造

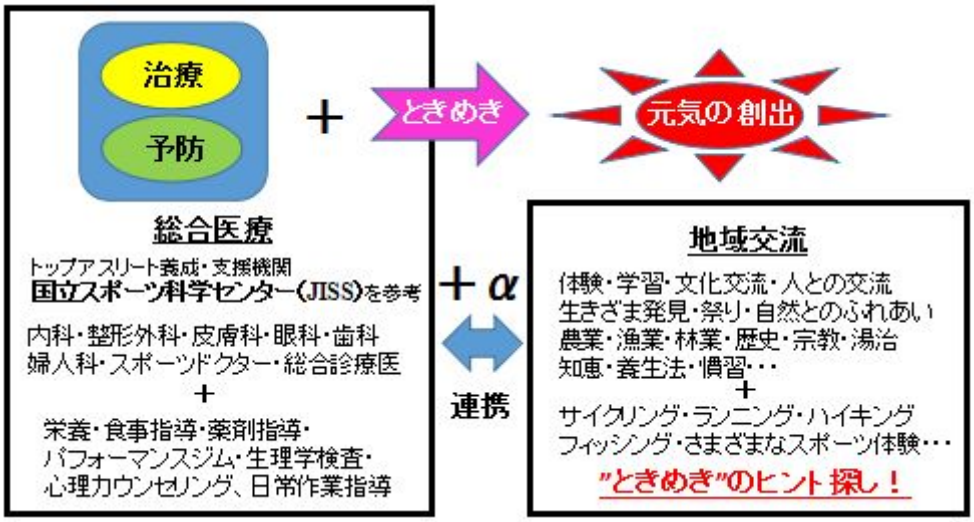
（地域交流から生まれる“ときめき”のきっかけづくり）

近未来の医療像として、

（治療・予防）＋（ときめきづくり）＝（元気の創出）

という式を念頭にイメージをつくってみました。

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project　(Alphadea Corp.) All rights reserved.



医療が主体で行う“治療・予防”においては、総合医療という観点が最も重要だと考えております。このモデルとなるのが、トップアスリートを養成・支援している国立スポーツ科学センター（JISS）という機関です。ここでは、内科・整形外科・皮膚科・眼科・婦人科などがあり、スポーツドクターや総合診療医が医療の側面でサポートをしています。さらに、栄養や食事指導・薬剤指導・パフォーマンスジム・生理学検査・心理カウンセリング・日常作業指導などを各専門家が指導しています。要するに、総合的な医療の観点でトップアスリートたちを支援する体制が整えば、しっかりとした成果が出せるという証明がなされています。しかし、この機関を利用できるのは、ほんの一部のトップアスリートに限定されています。人生１００年時代が到来して、ジュニアから社会人、さらには、シニアがスポーツを楽しむ１億総スポーツ社会においては、アマチュアであろうとも、このような総合医療の視点でサポートを受けられる環境が絶対に必要です。

さらに、“ときめきづくり”までを考慮すると、総合医療が提供されたとしても不十分です。そこで、地域の方々の力をお借りして、地域交流の中から「ときめきのヒント探し！」のきっかけづくりを連携して提供することが重要なポイントではないでしょうか。

医療の力を活用して、適正なコンディションを確保する。さらには、さまざまな体験や学習・文化交流・人との交流・生きざま発見・祭り・自然とのふれあい・農業・漁業・林業・歴史や宗教・湯治・先人の知恵・養生法・地域の慣習など、ときめきを生み出すきっかけになり得る要素と、サイクリング・ランニング・ハイキング・フィッシングなどさまざまな楽しむスポーツを組み合わせることで“ときめきのきっかけ”を見つけ出すことができるのではないでしょうか。

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project　(Alphadea Corp.) All rights reserved.

スランプやトラウマからの脱出やバーンアウトの解消など、医療の範疇かそうでないのかグレーなものや、シーズンオフのケア、怪我や故障からの復帰を目指す合宿、メンタルケア、自律神経の調整、生活習慣の改善さらには、新たな目標の発見やモチベーションの設定などを行うには、医療と地域交流を連携させた取り組みが必須となるでしょう。

４．総合医療＆スポーツ：

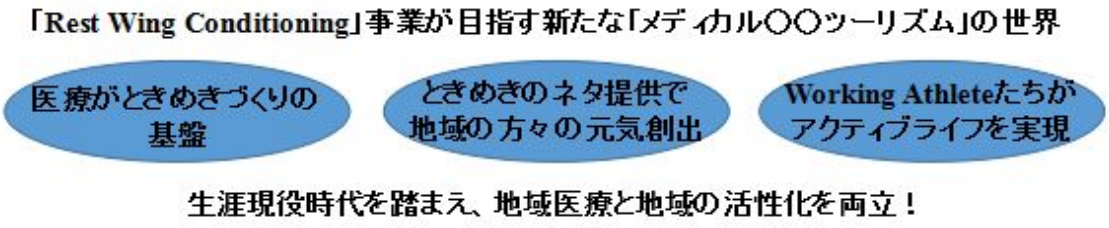
次の挑戦に向けたコンディショニング事業

（メディカル〇〇ツーリズムが変える地域活性化とお得意様づくり）

現在、石川県七尾発！「羽休めの郷」計画を推進しています。仕事・勉強・社会的役割を持ちつつ、スポーツにも熱中している「Working Athlete」の方々を対象にして、総合医療とスポーツ・食を組み合わせ、次の挑戦に向けたコンディショニングづくり（ときめきづくり）に貢献しようという取り組みです。Working Athlete は、社会生活の中でも、スポーツの中でも、新たな山（新たな挑戦）に挑む傾向が強い方々です。Rest Wing Conditioning の必要性を感じてもらい、また、成果に結びつけていく過程で、羽休めを取り入れ、楽しく体調を管理し、生涯ときめき輝くチャレンジャーであってもらいたいと考えております。

Rest Wing Conditioning 事業が目指すメディカルツーリズムは、あくまで、生涯現役時代を踏まえ、地域医療と地域活性化を両立させることです。

１．医療がときめきづくりの基盤をつくり、２．ときめきづくりのコンテンツ提供者として地域の方々の元気を創出、３．そして、Working Athlete たちがアクティブライフを実現するという世界を目指しています。



（診療・治療・検査・休養）＋（医学的指導）＋（ときめきを喚起するわくわく体験）を組み合わせ、メディカルスポーツ合宿やメディカルゴルフコンペ、メディカルサイクリング、メディカルハイキングなどのツーリズムを主体として、シーズンオフやチャレンジ後のケアを Working Athlete たちにご提供します。あたかも、渡り鳥が毎年羽休め

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project （Alphadea Corp.) All rights reserved.

に飛来するかのような、Working Athlete たちの定期的な羽休めの場になることが理想の姿です。

５．医療とスポーツの２つの世界を知るドクターこそ、１億総スポーツ社会を支える鍵

メディカルツーリズムとスポーツは確実に成長が期待される市場です。2020 年の想定として、潜在的な医療ツーリズムの市場規模 5,507 億円（日本政策投資銀行)、国内スポーツ市場規模 10 兆円（閣議決定)、ヘルスケア産業の市場規模 26 兆円（月間事業構想：日本再興戦略出展）というデータが示されています。しかし、この市場を獲得すべき新規事業はほとんど生まれていません。魅力的な市場である反面、どのようなイノベーションが起きるかが実現の鍵なのです。

日本の地域医療がさまざまな問題を抱えている中で、医療界や地方行政において、メディカルツーリズムに大きな批判があるのも事実です。しかし、拠点病院の貴重な設備を人間ドックなどに活用して、富裕層のインバウンドを誘致しようというだけが、メディカルツーリズムではありません。メディカルツーリズムは、ツーリズムである以上、ポジティブで楽しいものである必要があります。医療という分野だけにこだわらず、「ときめく“生きる”を共創」する自然や文化を活かしたアミューズメントパークであるべきです。医療と地域が連携することで、地域と人が元気になり、ツーリストが訪れてくれることで事業が生まれます。さらに、医療ツーリズムが活発化することで、地域の医療体制や環境を充実させることに貢献できる可能性も出てくるでしょう。

「医療でなければできないこと」と「医療ではできないこと」を融合させたメディカルツーリズムこそ、地域の活性化を生み出す重要な課題ではないでしょうか。

＊日本のドクターの意外な特長

少子化にもかかわらず医師が増加傾向にあることはご存知でしょうか。また、医学部で勉学とスポーツを両立させている医師の卵は、単純計算ではありますが、なんと医学部生の 2 人に 1 人にもおよびます。医学部受験や、医師のなるための過酷な勉学にもかかわらずこれだけ多くの Working Athlete が存在しています。生涯現役として、ジュニア・社会人・シニアの多くが Working Athlete として活躍する社会が到来。是非、医療

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project （Alphadea Corp.) All rights reserved.

従事者でアスリート経験を持つ方々が、生涯現役の Working Athlete を支える主役として活躍していただきたい。

参考データ

●医学部入学定員数

９，２６２人（平成２８年度)、７，６２５人（平成１９年度）　：　２１％増

（厚生労働省調査）

●医師国家試験合格者数

８，５３３人（平成２９年度)、７，７３３人（平成２０年度）　：　１０％増

（厚生労働省調査）

●医学部体育大会参加者数

東日本、西日本合計　およそ３０，０００人

（総医学生数の２人に１人）

（医学部体育大会運営者に調査）

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project　(Alphadea Corp.) All rights reserved.

「医療でなければできないこと」と「医療ではできないこと」

の連携

総合医療とスポーツを組み合わせたメディカル事業創出で

「ときめく“生きる”を共創」

地域医療と地域活性化を両立させ、地域の元気創出にご協力を！

Copyright © 2017 by Rest Wing Conditioning Project　(Alphadea Corp.) All rights reserved.